

# 静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-18-7  
(榎田ビル2F)

TEL.054-252-2418  
FAX.054-252-2430

発行人 井上 博 幸

## 建設産業は必要です

# 「地域の生活と文化を守る静岡県建設産業の主張」大会

経済不況が長引く中、追い討ちをかけるように政権交代による公共事業抑制の方針が暗伝され、「政権交代不況」などと言われ始めており、建設産業に携わる多くの人々が不安を感じている。

こうした中、静岡県建設産業団体連合会は国土の安全を確保し、地域の

安全安心を担う立場から、建設産業に従事する多くの仲間の声を結集して心意気を示すため、本大会が十一月五日「グランシップ」で開催された。当日、板金組合からは三役が出席したが、傘下の三十四団体並びに県下各地の建設業協会から四百余名が参加し、産別各

代表が意見発表を行い、決議文が全会一致で承認された。本組合の井上博幸理事長は、「こうした時期に未だ十分と言えない社会資本整備の必要性や地元建設業者の重要性、更には今業界が置かれている現状を広くアピールする事が出来て有意義であっ

た。我が組合としても、景気回復を待ちじっと耐えることも必要であるが、組合員が一致団結して機会あるごとに建築板金の存在を主張する事も肝要である。」と感想を述べられた。

### 決議文（抜粋）

われわれ、建設産業の先人達が造ってきた多くの道路や橋、伝統的な建築物などは、ほとんどが今も利用されている。建設産業が持つ技術・技能で造られたものであり、その機能や造形美は、我が国の文化であり、かけがえのない財産となっている。そして、われわれは、先人達と同じように今も、文化を・財産を造り続けている。このように、建設産業は、地域住民の生活・文化と切っても切れない密接な関係にある。それにもかかわらず、これらの建造物や建造物の役割や先人達の偉業について、一般の皆さんに正当に評価されているとは思われない。当連合会は、これらの建造物・構造物を造る場合に、必要な技術者・技能者などが多く加盟している団体であるが、長期にわたる公共投資抑制策と、新しい政権による一層の公共事業削減方針が示される中で、建設産業界の置かれている現状と、その重要性を、今こそ広くアピールする必要がある。

### 中略

このたびの政権交代により、公共事業予算はさらに減少する方向と聞いており、ようやく効果が表れようとしている景気対策が無に帰すことになり、さらには民間の設備投資意欲をも減退させる。繰り返して言えば、建設産業は、地域住民が安全で安心な生活をする上で必要な産業である。建設産業が衰退すれば、地域住民の生活や伝統的技術や技能の伝承などにも支障をきたすことになる。これは貴重な文化を失うということでもある。

社団法人静岡県建設産業団体連合会に加盟する各団体が、一丸となって、一般の県民の皆さんに建設産業の役割や必要性を十分に理解していただき、われわれの自助努力とあわせて、建設産業がいつまでも持続することができるよう国、県、市町をはじめとする全発注者の皆さんに次の施策を提言し、決議する。

- 一 本県における社会基盤整備のため、国土交通省が決定した「中部圏広域地方計画及び中部ブロックの社会資本の重点整備方針」に基づく各事業の着実かつ速やかな実施。
- 二 建設産業への入職促進のための人材確保・育成施策の充実および従業員が継続して働くことができる生活安定確保のための設計労務単価の十分な調査と実態にあった労務単価の設定。
- 三 後世にいつまでも評価される工事を施行するための「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の遵守徹底施策の実施。
- 四 地元中小・中堅建設業者育成のための「官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律」に定められた「中小企業者に関する国等の契約の方針」に基づく受注機会の確保・拡大に向けた措置の実施。

社団法人 静岡県建設産業団体連合会

安全で快適な職場づくりを目指して！第36回静岡県建設労働災害防止大会が、去る十月二十三日静岡労働会館で開催された。労働災害の発生件数は減少傾向にあり、特に平成20年度の死亡災害は過去最少を記録したとのことであるが、全産業別では建設業の死亡災害が占める割合は一際目立つ結果となっている。中で

## 建設業労働災害防止大会



(写真提供：建通新聞社)

も墜落・転落事故の発生が多く、足場対策の強化が依然として重要な課題となっており、またリスクアセスメントの確実な実施やヒヤリハット活動等の取組みが求められている。

大会では安全に関する表彰等が行われ、最後に参加者全員で安全の誓いを唱和した。

### 安全標語優秀賞作品

- 「なれた頃 ゆるむ緊張 事故の元 初心に帰り 安全作業」
- 「再点検 無駄と思つな 今一度」
- 「安全は他人に頼るな、まかせると、全員参加の危険予知」

### 土田彰顕事務局長 退任に思う

常任理事 野村和稔

土田彰顕事務局長は昭和六年二月二日に山形県西村山郡西川町（月山の麓）に生を受けました。

西川町には「安中坊遺跡」などが有り出羽三山（羽黒山・湯殿山・月山）の修験者が歩いた古道「六十里街道」が通り、庄内から月山の麓を迂回して村山盆地に入る古くからの交通路が有ります。

春には山菜が採れ「ぜんまい・たらの芽・あいこ」等、山の幸に恵まれた自然豊かな郷だったと推察いたします。又、郷土の味、「そばはっつと汁」などかなり有名であります。しかも厳冬の頃は雪深くその環境に耐える力を幼少の頃より養われたと想像いたします。藁靴を履き雪深い道を行く土田少年の姿が目に見えます。少年期は本当にご苦労の多かった事と思えます。

土田氏は戦後、家計を助けるため山で炭焼きの仕事に従事し、定時制高校を卒業した後、上京し苦学の上、名門・早稲田大学大学院修士課程で法律を専攻し大学院を修了されたと同っております。

その後、静岡県監査委員事務局長、そして静岡英和短期大学事務局長を歴任して、平成五年五月に静岡県板金工業組合事務局長に就任され今日迄十六年五ヶ月の間、職務全般に精通し卓越した能力の持主でありました。

土田氏が幼少の頃より培われた忍耐力は、今尚健在で六十才を期にフルマラソンに挑戦、現在まで七十九回完走の偉業をなし十一月一日に行われる大井川マラソンに出場すると聞き、只々驚くばかりであります。その努力に対し深く敬意を表わします。

又、文芸面でも短歌の創作も意欲的で同好会で研鑽に励んでいられたこととであります。

土田氏とのお付合は十年余となりませぬ。全板各大会に出席し懇親の席で土田氏と語らう中、お国訛りの会話が心地よく盃を口に運ぶ仕種など見ていて微笑ましく眼鏡の中の細い目が常に、にこやかな笑をたたえ蟠りなく氏の心の中に融け込んでいけるのも氏のもつ人徳と思っております。

旅先で土田氏と良く一緒にカメラに納まり私のアルバムを飾ってあります。この想出は終生忘却するものではありません。平成二十一年九月三日の常任理事会の席上で土田氏が退任される事を知り本当に驚きを隠せませんでした。その後、事務局長交代に伴う歓送迎会開催の案内が届き喜んで出席させていただきました。

九月十九日午後四時より静岡市クールホール会館に於いて細やかですが盛り上りのある、歓送迎会となりました。

私の隣に新しく事務局長になられる二俣武昌氏が着席いたしました。初対面の挨拶をかわし談笑している土田氏が二俣氏の隣に座られ県板の出来事、亡き父の話題として、私事など会話は宴が酣になるまで尽きませんでした。

新事務局長二俣氏も立派な経歴の持主でお人柄もすばらしく安心して県板の運営を託していただきました。

事務局の山崎さまの舞の披露もあり美しい姿に酔いしれました。宴も終局を迎えようとしております。私は県板各行事に参加させていただきまして土田氏がマイクを持って唱う姿を一度も見た

ことがありません。しかし、最後に土田氏が「人生劇場」を堂々と美声で唱われ感動を覚えました。この事も忘却することはしないでしよう。私事になりますが仲間四名で十一月六日より四日間、月山の麓あたりを巡りたく思います。土田氏の故郷より流れ出る川の水が寒河江川となりやがて最上川に合流し、我々が舟下りて遊ぶ川の流れも土田氏の故郷より旅して来た水と思えば感慨も無量であります。長い間、我々組合員のためにご尽力いただきました事を心より厚くお礼申し上げます。退任後は健康に留意し趣味を生かした充実の人生を送って下さるよう心より祈念申し上げます。ほんとうにありがとうございます。平成二十一年九月三十日 野村記す



### WANAFESTA2009 in しずおか

沼津支部長 木村公一

8月1日・2日の両日、静岡県技能士会連合会、静岡市等の主催による本年のWANAFESTAフェスタが、ツインメッセ静岡で開催されました。

県内10校の中学校が参加し、2人1組で銅板へらだしの競技が始まり、それぞれ個性ある素晴らしい「つる」の作品が仕上がった。

### ジュニアスキルズ2009 技能競技大会

小中学生に対し物づくりの関心を高め、更には将来に繋がる技術、技能の振興を図るため、昨年に引き続きジュニアスキルズ技能競技大会が十一月三日に「キラメッセぬまづ」で開催された。この大会は技能五輪の開催地となった沼津市が主体となり、静岡県技能士連合会とSBSプロモーションの支援により実施され、本年は五種目での競技が行われ、板金部門の銅板へら出しには二十六名が参加し、小学生が「虎」、中学生が「薔薇」の作品作りに取り組んだ。大会に先立ち事前講習会が十月十八日県立技術専門学校で行われ、組合東部地区

終わってみると私の母校の生徒が県知事賞をいただき、生徒と共に大変な喜びに浸り、その日は自宅に帰るまで興奮状態であった。

これも県板役員の方々のご協力があったからこそと思えました。



### 「WANAFESTA」チャレンジ教室 前期

平成21年度のWANAFESTAチャレンジ教室の前期結果について、県技能士連合会が纏め提示された。当板金組合関係では、小学校一校、中学校六校で実施され合わせて百五十二人の生徒が参加し、各校で指導員による熱心な技術指導が行われた。特に中学生部門では、「銅板へら出し」の人氣が高く他の作品区分に比べ図抜けた参加者数であった。アンケート調査では、「私は初めて鶴を作りました。最初は難しいと思いましたが、技能士さんの教え方は分かりやすくてとても簡単で面白かったです。」

これからも板金に関係あるものを作ってみたくて、楽しい思い出をありがとっ、ごさいました。」僕は普段やるのが出来ないうか？」という不安ばかりでした。しかし、自分には組合を通じて知り合った仲間がたくさいいました。仲間を通じて、声をかけ合ったり、協力していく中で、仲間も増え、協賛して頂ける企業様も集まるようになりました。約半年間の準備期間は本当に大変でしたが、部長として、仲間が増えた事はとても大きな「財産」です。研究会自体も、全国より二六〇名の参加者の中、大成功を取めたと思います。

# あすなる研究会



全板連・日板協 青年部 第29回 あすなる研究会 in 愛知  
「平成 検査 部門」 - 本会の部分がある、今こそチャンス、今こそチャンス-

## 「あすなる研究会」を通じて

静岡県板金工業組合青年部

部長 小沢 範久

今年度は、同じ中部ブロックでの開催という事で、静岡県からは部員十

六名、協賛企業七社と参加出来ました。静岡県を預かる身としては、「本当に自分には努まるだろうか？」という不安ばかりでした。しかし、自分には組合を通じて知り合った仲間がたくさいいました。仲間を通じて、声をかけ合ったり、協力していく中で、仲間も増え、協賛して頂ける企業様も集まるようになりました。約半年間の準備期間は本当に大変でしたが、部長として、仲間が増えた事はとても大きな「財産」です。研究会自体も、全国より二六〇名の参加者の中、大成功を取めたと思います。

## 「あすなる研究会」

御殿場青年部 支部長 渡辺 敦

今回得た経験を、これから大事にして、静岡県板金の発展に努力して行きたいと思っています。次世代の担い手として、青年部活動へのご理解、ご協力をお願い致します。

9月27日・28日、メルパルク名古屋で行われたあすなる会には全国から二六〇名の参加者で行われました。あすなる会初参加の私は「むずかしい研究会のかな」などと

不安もありつつ、開会式をむかえた。

全板連・日板協青年部・部長挨拶、全板連理事長挨拶、来賓挨拶と続き、皆一〇〇年に一度の厳しい経済状況と、政権交代で先の読みにくい状況、この会を通してヒントやチャンスに換えてほしいというものだった。

次に宮大工・小川三夫氏の『不揃いの木を組む』の講演を受けた。小川さんの大工の修業時代の話、鶴工舎の大工の話、法隆寺の建物の話、など職人には興味深い話を聞く事が出来た。

印象に残った話は、「不器用の器用」の話で、「不器用な者は、技能の修得に時間が掛つたり失敗したりするけど、技能を習得した時には器用な者を上回る技能を発揮する事がある。」という話だった。そして次の分科会場で、「建築板金とそのルーツ」の講演を受けた。刀鍛冶・鉄砲鍛冶などが平和な世の中になり、かざり職人となり、その職人が薄い金属板を取り扱いはしたらしい話、三〇〇年前の銅屋根が今でも名古屋に残っている話で、これも興味深い話だった。そして一日目が終わり、夜の懇親会では全国の板金青年部との親睦を深め、二次会、三次会と夜の名古屋を楽しんだ。

二日目。分科会では「ワンランク上の人生を歩こう」の講演を受けた。この講演では今の若者の精神面、目標を達成する為にどのような問題、解決をするか、の話だった。ワンランク上の人生は、物質的ではなくて、環境・(能力・行動)・価値観・人格においてのレベルである、との事だった。

そして次は、一年後に自分へ「手紙を書く」、「未来への自分」の時間があった。一年後の自分はどんなに思っているか、自分の姿を思い、自分へ出す手紙だったが、なかなか一年後の事は予測もできないし、どの様な事が起きるか分からないので、重い課題だった。

そして閉会式。部長・来賓挨拶で閉会、解散となった。来年のあすなるは兵庫になる予定で、私事ではあるが、過去に阪神大震災をテーマにした映画「ありがとう」のオープニングの板金を手掛けた事があり、オープニングの震災の妻に驚かされた事があった。あの震災からどの様に復興したか、来年は兵庫に行

って話を聞いたり現地を見たいと思います。

## あすなる研究会に参加して

小笠支部 支部長 久保 雄丈

先日、9月27日・28日の両日にかけて行われた「あすなる研究会」に参加してきました。愛知に全国から二六〇名の青年部員が集まり盛大に行われました。私はこのような全国規模の会に、初めて参加したので、たくさん

の刺激を受けました。まず驚いたのが二六〇人の前で挨拶や進行をする役員の方が皆、堂々とした態度で流暢なしゃべりをする事です。この人達は自分と同じ板金屋なのか？と。そしていくつもの講師の方々の講演を開き、どれも興味深い内容でこれからの仕事だけでなく人生を考えさせられる貴重な体験でした。また、夜の懇親会では、いろいろな土地の同世代、同業者と語り合う事ができた、とても楽しい時間でした。たくさんの方々の事を学び、たくさんの方々の出会い、二日間という短い期間ですが、自分を成長させる事ができました。参加してとても良かったです。

欲しい物がここにある

鉄鋼二次製品 / 銅・アルミ・ステンレス / 化学製品  
機械工具 / 住宅設備機器 / エンジン発電機・溶接機

さまざまなニーズにお応えします

# 西川鋼販株式会社

本社 / 〒437-1302 掛川市大淵9617  
TEL 0537-48-3828代  
FAX 0537-48-2644

トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい  
三晃式長尺瓦棒・三晃式折版構造

# 株式会社 釜慶商店

浜松市北島町760番地  
電話 053-423-0007代 FAX.053-423-0010

## 建築板金屋根・外壁用資材

# 株式会社 平松鋼業

〒424-0007 島田市野田1115-5  
TEL 0547-36-5816  
FAX 0547-36-5818

みなさまのおかげで今年、創業60年を迎えます

# 株式会社 植松

本 社 沼津市西沢田205-1 TEL.055-922-1555  
製 造 部 沼津市西沢田205-1 TEL.055-922-1004  
進 進 部 沼津市西沢田205-1 TEL.055-922-1558  
沼津営業所 沼津市東門門144-2 TEL.055-963-1394  
御殿場営業所 御殿場市清後545-1 TEL.0550-833-6760  
伊東営業所 伊東市宇佐美1111 TEL.0557-47-1363  
富士営業所 富士市松岡413-5 TEL.0545-62-0233  
建 販 部 沼津市東門門144-2 TEL.055-963-1347

## フラットパッケージシステム

### 嵌合フラットR&D + ニューS&W

時代のニーズに適合した新たな屋根工法。  
頑強でフラットな屋根下地と各種屋根工法をシステム化

嵌合フラットR&D 屋根30分耐火構造

断面性能や風圧力に対する性能を大きく向上させた安定感のあるフラットタイプのデッキ下地です。

屋根・壁 へ住まいへ...夢をカタチに!

# SEKINO セキノ興産

詳しくは、別途カタログをご請求下さい。

# 冴える職人の技

「第31回富士市技能フェスティバル」が10月11日(日)富士市柳島(東海道新幹線新富士駅の近く)のふじさんメッセで開催された。市技能職団体連絡協議会と市勤労者福祉サービスセンター加盟団体が作る実行委員会が主催である。

数多くの市民・親子連れが詰め掛け熟練の技や職人の生み出す手作り品の温もりに触れた。板金・塗装・左官・造園・美容・理容・菓子組合など技連協加盟の22職種24団体が「ものづくりチャレンジコーナー」や製品の展示即売ブースを設けた。

ものづくりコーナーでは県板富士支部の会員が銅板折鶴の製作実演や銅板表札作りを、市民に指導・来場者の目を引いた。表札作りでは家庭の主婦が挑戦・見事に仕上がりにこころで組合員に感謝する姿が印象的であった。

このような機会に体験を通じ職人の仕事に理解を深めていただいたことは大変ありがたく思った。有意義な一日であった。来年もさらに新しいものに挑み大いに職人の技

をPRしたいと思う。最後に県板井上博幸理事長には同日、静岡ポリセクセンターで開催される技能士競技大会の忙しい中、本会の開会式に列席賜わり、誠に有難く感謝する次第である。

静岡県板金工業組合  
富士支部 野村記す



## 安全パトロールの実施

今年度の屋根工事安全パトロールが、10月7日に中部地区、西部地区、10月14日に東部地区で実施され、合計18箇所工事現場でチェックを行った。

安全パトロール東部地区  
(田方支部担当)

建設業労働災害防止協会  
静岡県支部安全指導者  
東部地区長 林 紀明

10月14日安全パトロールを実施した。今回の担当支部は田方支部である。午前9時長岡駅にて田方支部の鈴木支部長、石田様、深谷様の出迎えを受け井上理事長、林、重杉、野村、中村、5名の県板役員は車2台に分乗

してパトロールに。まずは第1の現場、伊豆の国市、尾田邸である。色々とチェックを行い特に指導する所もなく現場の方達に作業の安全をお願いし次の現場へと向かった。

続いて第2の現場、伊豆市柿木、鈴木邸である。まだ屋根も葺いてなく足場のチェックを行ったところ1箇所だけ手すりがない軒先から高さ50cmしかなかったため(通常高さ1m)指導票を渡し改善を促した。

次に沼津市の消防団第16分団詰所、三島市の芦川邸と見て回り2ヶ所とも指導する所もなく田方地方の安全パトロールを終了しました。

田方支部の方々があり

とうございました。



## 県議会民主党議員の来所

この度、静岡県「川勝平太」新知事の与党となった民主党会派の平成21から三ツ谷会長以下四名の議員が、十月五日、当組合事務所に見えられ短時間でしたが、井上理事長との懇談が行われた。民主党は今後の川勝県政の円滑な運営のため、全面的なバックアップ体制

制を構築していく決意が述べられ、建設関連団体への協力についても言及された。

一方、井上理事長からは、下請け業務の多い当業界にとって、不況による仕事量の減少は大変厳しいものとなっているので、県で出来る対策を講

## 事務局の人事異動

本組合の事務局長として、十六年五月月に亘り組合活動の円滑な運営にご尽力いただいた、土田彰頭氏が九月三十日を以って退職されました。これまでの多大な功績に対し深く感謝致します。

## 退職のあいさつ

土田 彰頭

このたび九月三十日を持ちまして静岡県板金工業組合を退職いたしました。かえりみますと十六年余の長きにわたり組合員の皆様のご指導とご鞭撻によりまして大過なく過ごすことができましたことは、誠にありがとうございました。今後とも板金業界と皆様のご繁栄を確信し、また皆様方のご健康を祈念しつつ、退職のあいさつといたします。

## 就任のあいさつ

二俣 武昌

このたび土田彰頭事務局長の後任のお話をいただき、十月一日より静岡県板金工業組合にお世話になることとなりました。経済不況が続く中、本組合の運営も大変厳しい状況下にあると引継ぎを受けましたが、これまで前局長が培われた実績、成果を汚さないよう、また、事務局として円滑な組合運営に資するよう努めてまいります。

## 登録建築板金基幹技能者特例講習のご案内

登録建築板金基幹技能者資格は、建築板金基幹技能者資格の上位資格に位置付けられ、この取得には国土交通省に認められた特例講習の受講が必要となります。

本組合では平成22年2月26日(金)、静岡市内での開催を予定しておりますので、下記の受験資格について、現時点で5資格に不足がある方は、早急に取得するよう努力いただき、この特例講習の受講機会を逃されないうご案内します。

### 記

受講資格 次の条件を全て満たしていること

- 1 「建築板金基幹技能者」として認定を得ている者
- 2 建築板金工場の施工現場で10年以上の現場施工に従事し、うち3年以上の職長経験を有している者
- 3 次の5資格を有する者
  - ① 建築板金一級技能士
  - ② 職長教育修了者
  - ③ アーク溶接作業特別教育修了者
  - ④ 玉掛け技能講習修了者
  - ⑤ 高所作業車運転技能講習修了者

組合員の皆様方には、前局長と同様に指導、ご鞭撻をいただきますよう、お願い申し上げます。